

## 創業の思いを継続し、進化を続ける経営

# 栃木精工株式会社

代表取締役社長 川嶋 大樹 氏



今回の企業ルポは、「総合相談グループ」の紹介により、医療機器の製造販売、精密パイプの加工、磁気センサーシールドの製造を行っている栃木精工株式会社（栃木市）を訪ね、川嶋社長からお話を伺いました。

### 会社沿革

栃木精工(株)は、1948年5月に祖父の米三郎氏が栃木市泉町にステンレスパイプを加工し注射針製造を手掛ける晃陽精密(有)を創立し、1952年6月に現所在地に新工場建設と共に現社名の栃木精工(株)に改組。

初代社長の米三郎氏は、体が弱く戦地に行けず、生かしてもらった命を「世の中のために役立ちたい」という思いから、医療、教育、福祉の事業を立ち上げた。まずはステンレスパイプと注射針を製造する事業を立ち上げ、その後、教育分野で看護師養成学校、社会福祉分野で特別養護老人ホームを設立した。注射針の製造においては、技術とノウハウを構築し、品質と生産技術が認められ、1956年より欧米諸国に輸出が始まった。

1965年には、プラスチック成形を新たに開始し、

1969年には日本で最初の産業用γ線照射工場を設立した。注射針を使いまわすことが当たり前だった当時、使い捨ての滅菌済み注射針を製造し、社会福祉に大きく貢献した。

順調に売上を拡大し、売上がピークで約37億円まで拡大してきたが、1985年のプラザ合意後、急速に進んだ円高により、最終的には7億円までダウンした。事業を継続するため、注射針以外にも製品の幅を広げ、医療用コネクタやチューブ、カテーテル等を製造するようになった。しかしながらそれでも乗り切ることができず、2代目社長の精進氏は、270名いた社員を70人まで減らすという辛い経験をしながら、厳しい時代を生き抜いた。

現社長である3代目の大樹氏は大学院卒業後、製薬会社に就職。社会人となり半年後、精進氏が病気を患い、父から「継いでほしい」と告げられ、2005年に入社。そして、2010年6月に3代目社長に就任。

### 企業理念

社 訓：「創意・誠意・熱意」

社 是：「創意によって世界人類の福祉に貢献する」

品質方針：「私達の心を込めた贈り物 安全性と確実性」

上記の社訓等は、創業当初から変わらず、先代の「世の中のために役立ちたい」思いを継承しており、社員に対しても、より良い職場環境を整えるため、社長自身が社員になったと置き換えて考え、様々なアイデアを出している。福利厚生の一環として、従業員の感



歯科用注射針

謝や称賛の対象の行動に対し、従業員が相互に匿名でポイントを付与できる社内アプリを開発したのもその一つである。4月より稼働しており、1回につき100ポイントとなり100円に換算することができ、社内の自動販売機等で利用できる。これにより、モチベーションの向上の他、思いやりや環境整備の向上に期待している。

## 会社の特徴

医療機器の品質マネジメント規格ISO13485およびISO9001を取得し、注射針を素材から最終製品まで製造し市場に出荷できる強みを持つ一方、滅菌のみ、焼鈍のみといった工程のみの受注も可能である。

歯科用注射針は、国内シェア約50%を占めている。注射針の外径を小さく、内径を大きくする技術を用いて、痛みを軽減するだけでなく、傷跡が残りにくい「スカーレットニードル」は主力の自社製品である。

また、硬く粘りがある難削材のニッケル-鉄合金（パーマロイ）の精密加工も得意としている。



医療と工業分野の共同開発医療機器

## 人材育成

入社してから代表取締役役に就任するまでの4年半は、社員の方向性がバラバラであった。社員全員に同じ方向を向かわせるために収益の見える化を行った。収益のうち、給料の割合と設備投資の割合を公表し、収益を上げることで給料が具体的にどの程度反映するかを明確にした。その結果、社員のやる気が向上し、方向性が統一した。

また、従業員1人1人を尊重することが大切だと考えており、「個人の特性」を育むために、各自の成長意欲に対応するOJT制度や、全額会社負担による外

部研修など、キャリアアップに必要な充実した教育制度を実施している。「社員の雇用と生活を守る強い会社にしてくれ」と父から託され、万が一会社が倒産しても、他でやっていける技術や経験を身につける人材育成をしている。

## 今後の事業展開

今後も変わらず、「創意によって世界人類の福祉に貢献する」ため、医療機関等のニーズを解決する製品開発を行っていく。手術等で用いる医療機器は、外国製が主流であるため、日本人に合わせた使い勝手を良くしたり、新たな機能追加のニーズがある。これまで培った医療機器製造のノウハウと県内の協力会社や大切にしている「人のつながり」を駆使し、時には異業種とコラボしながら、「多様性と組み合わせ」による製品開発を行っていく。

また、社内活性化の一環として「終身雇用制度」を前提とした成果、貢献評価制度を施行している。現在、「ジョブ型雇用」を導入する企業が増加傾向にある中、ジョブ型雇用ではなく終身雇用とすることで、チームプレイによる柔軟な対応を見込んでおり、安定した雇用も保障している。

初代社長の「社会貢献」の思いと2代目社長の「社員を守る」思いをこれからも継承していく。



外景

### 会社概要：栃木精工株式会社

代表者／川嶋 大樹  
所在地／栃木市平柳町2-1-5  
資本金／10,000万円  
従業員／250名  
URL／<https://www.tochigiseiko.co.jp/>